

「防災の常識を変える」と話す西谷氏

まとめられているので、親からしてみれば、通常の仕送りとして使うことができ、実際にリピート率は高い。

引越会社だから「引越ぼうさいシリーズ」は、西谷の協力で開発し、新生活をスタートする利用者などに提案する。転居先での安心・安全な生活を後押しするほか、ギフトとしての活用も見込んでいる。

三八五流通の「引越ぼうさいシリーズ」担当の笹本亜裕武氏は、「引越事業をやっていること、引越をする本人や見守る家族が安心して使えるサービスを提供したい」との思いが強く、「ぼうさい」が強く、「ぼうさい」として、「青森県という土地柄もあって、一人暮らしの老人もたくさんいるので、そういう人たちに普段から、仕送り食としても広めていきたい」と話している。

(三村秀寿)



三八五ぼうさいBOX

カーボンニュートラル推進

佐川など4者が協定



(左から) 佐川急便の本田恵一取締役、按田豊頃町長、北洋銀行の背戸田能章帯広中央支店長、ステラグリーンの中村社長兼CEO

佐川急便(笹森公彰社長、京都市南区)は、森林カーボンクレジット創出の支援事業を展開するステラグリーン(中村彰徳社長兼CEO、東京都中央区)と北洋銀行(津山博恒取締役頭取、札幌市中央区)とともに11日、北海道豊頃町(按田武町長)の森林資源活用によるカーボンニュートラルの実現と持続可能な社会の構築に向けた連携協定を締結した。

豊頃町と佐川急便の2者間は、防災・減災への協力などを盛り込んだ地域活性化包括連携協定も締結している。

この連携協定により、4者は豊頃町での森林保全活動を通じて、地域のカーボンニュートラル実現を目指す。

さらに環境価値の創出によって得られる収益を、森林保全や防災・減災対策、地域経済の活性化に循環させる仕組みづくりにも取り組む。

(越後桃子)

ヨロス物流
ライトトラック用が入荷
 実用性を徹底追求

ヨロス物流(新谷林市)が日本総代理店を務め、全国20

ライトトラック用 (2t, 3t)

AZ712
 CHAOYANG Light Truck Tires

205/85R16LT

高性能で低価格と評判のチャオヤンタイヤ

Spec	Single 単輪使用				Dual 複輪使用			
	kg	lbs	kPa 標準	psi 標準	kg	lbs	kPa 標準	psi 標準
205/85R16LT	1285	2835	600	87	1215	2680	600	87

0社を超える販売性を大幅に向上させ、走行距離を飛躍的に延長し、「ジグザグ」が、地域配送用途で優れたトラック「専用トレッドコンパウンドを採用し、より長い耐摩耗寿命と使用寿命を実現」などの特長を備えている。

同社では、「今回の緊急入荷分についても、すでに事前の引き合いが多く、早期完売の可能性が高い状況」と説明し、今後の検討を呼び掛けている。

(中野秀一)

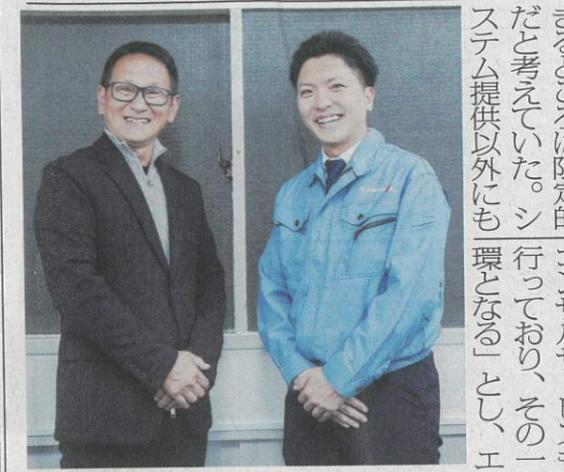
城副校長も「の養成に努めたい」への貢献を「と前向きな姿勢を見せている。」

ドライバードライバー (朝妻聖一)

サービスの展開するエイチ・エル(札幌市北区)をグループ化し、物流事業を開始した。グループ化によって、荷主や運送事業者を含めたサービス提供が実現する。

エイチ・エルは、製パンメーカーなどの小麦粉をはじめとする調達物流のマネジメントを行う。北海道での共同配送ノウハウを有する。

アSENDでは「システムだけで解決で



(左から) エイチ・エルの倉光玄社長と日下社長。今後は日下社長が代表を務める

マグケグループ4月人事組織体制も変更

尾形哲氏がトップに

マグケグループ(大阪市港区)は、最高経営顧問に就く。代表取締役には新取締役に、専務執行役員として中村哲氏も就任する。

組織体制も4月から変更。物流センター運営のロジスティクス事業本部など7事業本部を廃止し、新たに「ロジセクター」など13のセクターを設置して、31のグループ会社を統括する。グループ12社は、「問口ロジスティクス」から「マグケLOGI」へなど、社名も変更する。

(西口訓生)

減)で清涼飲料水とビールが減少した。首都圏地区は2万40個(同7.3%減)で清涼飲料水が減、中国・四国地区は1万1001個(同6.8%減)で紙・パルプが減、九州地区も1万302個(同3.5%減)にとどまった。

1~2月の年度累計実績では、合計19万4129個(同8.7%減)で、東北地区が2万4544個(9.4%増)、中部地区が4万3995個(同0.8%増)となったが、ほか5地区では前年比5.6~32%減となった。

(小澤裕)

当月実績 (単位:個)

地区	実績	前年	対前年比
北海道地区	10,510	14,655	71.7%
東北地区	12,772	11,601	110.1%
首都圏地区	20,040	21,618	92.7%
中部地区	22,873	22,070	103.6%
関西地区	11,975	13,655	87.7%
中国・四国地区	11,901	12,774	93.2%
九州地区	10,302	10,672	96.5%
合計	100,373	107,045	93.8%

年度累計実績 (単位:個)

地区	実績	前年	対前年比
北海道地区	19,607	28,855	68.0%
東北地区	24,544	22,443	109.4%
首都圏地区	38,851	42,608	91.2%
中部地区	43,995	43,641	100.8%
関西地区	23,151	27,185	85.2%
中国・四国地区	24,132	26,794	90.1%
九州地区	19,849	21,031	94.4%
合計	194,129	212,557	91.3%

<増減理由> (当月)

地区	理由
北海道地区	農産品、食料工業品が減
東北地区	返品送パレットが増
首都圏地	清涼飲料水が減
関西地区	清涼飲料水、ビールが減
中国・四国地区	紙・パルプが減